

Children's University Kawago
子ども大学かわごえ

CUK だより

第 54 号 NO.150331

2014 年 6 月 30 日

子ども大学かわごえ第 7 期入学式

日時 : 2014 年 06 月 28 日(土) 14 : 00 ~ 16 : 00

場所 : 尚美学園大学 パストラル音楽ホール

新入生 188 人を迎えて第 7 期入学式が行われました。酒井一郎子ども大学かわごえ理事長が歓迎のあいさつを行った後、来賓の川越市長川合善明氏が「子ども大学かわごえは好奇心と自発性に基づく学びの場であり、興味を持って自分の知らないことを追及してください」、鶴ヶ島市教育委員会委員長の河上亮一氏が「ふだん学校で聞けないことをしっかり聞き、自ら進んで学習し、努力することが大切です」、尚美学園大学学長田邊敏憲氏は「美しさを楽しむこと、コミュニケーションを学んでください」とそれぞれ祝辞を述べられました。

ご祝辞の後で、子ども大学かわごえ 6 年生の岡田理子さんが「子ども大学とは、学校では学べないことを学べる」と話して新入生たちへ歓迎のあいさつを行いました。

あいさつが終わった後、子ども大学ジュニア合唱団 22 人が、「ふるさと」「エーデルワイス」「虹の地球」「光の中へさあ君と」「チムチムチェリー」「つばさをください」の 6 曲を尚美学園大学総合芸術センター長坂田晃一先生の指揮で披露して喝采を受けました。



子ども大学かわごえ 第7期 第1回 授業記録

日時 : 2014年06月28日(土) 14:00~16:00

場所 : 尚美学園大学 パストラル音楽ホール

テーマ : 音楽の不思議と合唱の楽しみ

講師 : 尚美学園大学 尚美総合芸術センター長坂田晃一 教授

1. プログラム : 先生の紹介

坂田晃一先生・・・作曲家

NHK連続TVドラマ「おしん」、NHK大河ドラマ「春日の局」、「コクリコ坂から」ジブリ劇場版アニメなどを作曲。

音楽の仕事をして50年やってこられ、最近音楽の大切さが歳と共に解ってきたと述べられた。

共演、漢那拓也先生・・・サウンドクリエイター

イーハトーヴ交響曲コンサートで初音ミクの音源制作を行った。



おしん

2. 授業1時間目 : 音楽の不思議

1) 音楽とは？

音楽で世界を動かす事は出来ない。(世界を動かす力はない)
しかし貧しい人を勇気づけ、癒し、楽しくする力がある。

紛争地帯の留学生の言葉

アフガニスタンやイラン：戦争で苦しむ人たちが多くいる国から女子中学生達が日本に留学して来た。

彼女達の言葉「日本は本当に平和」・・・紛争地域では音楽を楽しむ事は出来ない。

皆さんは平和に感謝して音楽を楽しんで欲しい。



戦場のピアニスト

2) 音楽の起源は？

不明。但し大昔からある。文字を持たない民族でさえも音楽だけは持っていた。

インカ文明がその例で、インカの人たちは文字文化は無かったが、音楽の文化はあった。

人類は発生してからすぐに音楽を持っていた。



インカ文明

3) 音楽の不思議

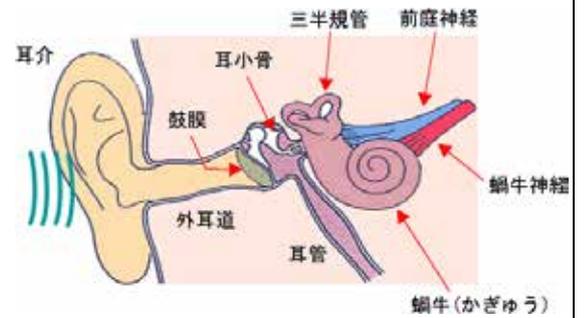
人がどのような感じで捉えているのか解明されていない。

音楽の「音」で音が作られている・・・同時に「楽」も出来ている。



4)音って？

何か振るえる
 震えが空気を伝達(音の速さ：約 340m/s)
 空気が人の鼓膜(こまく)を震わせる
 鼓膜の震えが電気信号に変換されて脳に伝わる
 音として感じる



蝸牛(かぎゅう)

5)楽器が音を出すしくみ…何かを振るわせる

ピアノ、打楽器・・・たたく
 ギター、ハープ・・・はじく
 バイオリン、チェロ・・・こする
 リコーダー、トランペット・・・吹く
 クラリネット、ハーモニカ、オルガン



楽器は全て何かをふるわせて音を出している。
 人の耳で聴こえる音の振動 1秒間に20回=20Hz(ヘルツ)
 20~20,000Hz

6)音階を作る

ピタゴラス音律(おんりつ)
 ドレミファソラシド…世界で同時多発的に出来た。
 大きさ、重さが半分になると半オクターブ上がる
 大きさ、重さが 2/3 になると 1/4 オクターブ上がる
 「ド」=1度 440Hz(1オクターブ) 880Hz
 1760Hz…倍×倍…



7)音楽の三要素[三つあるのは西洋(ヨーロッパ)だけ]

| | | |
|---------------|---|---------------------------|
| メロディ (旋律) | } | 元々ハーモニーがあったのは西洋(ヨーロッパ)だけ。 |
| リズム (律動) | | 世界の他の地域では、メロディとリズムだけで |
| ハーモニー(和音/コード) | | 音楽が出来ている。(日本の音楽も) |

メロディの成り立ち
 リズムに乗せて音の長さを変える
 音をのばしたり、切ったりする



・メロディ+打楽器によるリズム…物足りない
 ↓
 ・メロディ+リズム+ハーモニー…音楽として成立

} ハーモニーが大切
 ハーモニーとは？…和音

ハーモニー(和音/コード)の成り立ち
 心地良く響き合う音を選んで重ねると和音が出来ると
 響き合う音を人間の感性によって発見した事から始まる

⇒ 科学的に正しい事を説明出来る。

「ド」と「ソ」…5度 「ド」と「ミ」、「ド」と「ファ」…良い音

8) 協和音と不協和音

半音同士をぶつけるとどう言う音がするのか?…気持ち良く響く音と気持ち悪く響く音の二種類がある

「ドミソ」…ハーモニーの基本

「ド」の上に「ドミソ」を重ね合わせると…

小学生～18歳くらいの人まで聴こえる協和音が出来る

倍音(ばいおん)とは?

弦楽器や管楽器などの音を正弦波(サインウェーブ)成分の集合に分解すると元の音と同じ高さの波(=周波数 Hz)の他に、その2以上の整数倍の周波数を持つ波が多数現れる。これが倍音である。

倍音

音色(おんしょく/ねいろ)

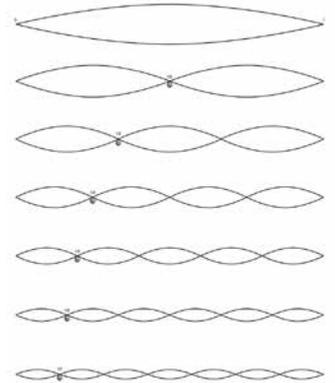
楽器はそれぞれ、いろいろな音色(おんしょく/ねいろ)を持っている。

音だけを聴いて何の楽器か判るのはそのためである。

また音は目で感じる色に例える事もできる。

よって色を混ぜると別の色が出来るように、楽器の組み合わせ方によって色々な音色を作り出す事が出来る。

例えばオーケストラが演奏する音楽は、様々な音色が変化するのを楽しめる。



9) 音楽の不思議のまとめ：音楽を構成するもの

メロディ + リズム + ハーモニー + 音色/サウンド → 4つの要素が音楽を作ってる

3 . 授業2時間目：合唱の楽しみ(実習=合唱授業)

2時間目は、ハーモニーの成り立ちや協和音、不許和音について学びました。

理論学習の後みんなで合唱を楽しみました。

最初グループ分けをして「かえるの歌」の輪唱を行いました。次に「ふるさと」の合唱を行いました。最後に、となりのトトロの歌「さんぽ」をみんなで合唱しました。そして合唱の楽しさを体で覚えました。

学長 遠藤克弥

事務局

NPO法人子ども大学かわごえ
〒350-1109 川越市霞ヶ関北3-12-6
霞ヶ関北自治会館内



H-P <http://www.cuk.or.jp>
TEL 080-2053-2991 (事務局直通)
FAX 049-233-1640F
E_MAIL info@cuk.or.jp